

第3次佐野市行政改革大綱を策定しました ■問合せ=行政経営課☎(20)3005

平成18年3月に「佐野市行政改革大綱」、平成22年3月に「第2次佐野市行政改革大綱」を策定し、2次8年間にわたり、行財政改革を推進する取り組みを進めてきました。しかし、今後将来を見据えたときに本市の財政運営は厳しさを増すことが予想されることから、今後も一層の改革を進め、行政経営が持続できるよう取り組む必要があります。このことから、本市の総合計画に基づいた新たな行財政改革を推進するため、「第3次佐野市行政改革大綱」を策定しました。

◆基本方針◆

1. 効率的な行政経営の推進と質の高いサービスの提供

質の高いサービスを提供するため、市民の視点に立った市民サービスの見直しを行うとともに、市民に親しまれ、市民が利用しやすい市役所となるよう利便性の向上を図ります。また、限られた人材、財源などを有効活用し、組織体制のスリム化や業務の効率化などに努めることにより、健全な財政を維持しつつ、バランスよく、質の高いサービスの提供とコストの縮減を図っていきます。

2. 市民との協働によるまちづくりの推進

市民と行政が協力し合う関係を構築し、協働によるまちづくりを推進するには、市民と行政が情報を共有し、理解と信頼を深めることが必要です。市民に分かりやすい情報の提供に努め、さまざまな公共的課題に関心を持ってもらうとともに、市民、市民活動団体や事業者と行政がそれぞれ担うべき役割を理解し、相互の連携や協力関係の充実と強化を図り、市民活力を活かしたまちづくりを推進します。

3. 持続可能な財政運営の推進

今後も厳しい財政状況が見込まれる中で、市民に安定的、継続的に市民サービスを提供していくため、財政需要を的確に把握するとともに、中長期の財政見通しを踏まえ、選択と集中により、健全で計画的かつ適正な財政運営を行います。さらに、合併後10年を区切りとして5年間で国からの財政支援が縮小していくため、自立した佐野市に向けて持続可能な財政運営を推進します。

4. 職員の育成と適正な人事管理

社会経済情勢の変化やさまざまな行政課題に対応するため、職員の意識改革を図り、職員個々の職務遂行に必要な能力開発や研修などを実施し、育成していきます。また、人員削減による市民サービスの低下を招かないよう、中長期的な視点で将来の職員数の目標を定め、効率的・効果的な職員配置や人材の有効活用を図り、適正な人事管理を行います。

◆推進体制◆

1. 推進期間…平成26年度から平成29年度までの4年間とします。

2. 推進体制…次の2つの機関を改革の両輪に据え、行政改革に取り組みます。

①佐野市行政改革推進本部

市長を本部長とする「佐野市行政改革推進本部」を中心に、大綱に基づく実施状況の確認、取組事項の進捗状況を踏まえて、全庁的に行政改革に取り組みます。

②佐野市行政改革懇談会

行政改革の推進にあたり、広く市民に意見を求めるため、市民の代表者などで組織する「佐野市行政改革懇談会」に行政改革の推進における実施状況や実施計画を適宜報告し、提言をいただきます。

3. 実施計画の策定と公表

本大綱の具体的な項目を推進するため、できる限り目標を数値化した、分かりやすい年度別実施計画を策定し、実施の状況について公表します。

4. 行政評価の公表

「佐野市総合計画」の施策、基本事業、事務事業について行政評価を行い、その取り組みと評価結果を公表します。

5. 財政効果の公表…行政改革に継続的に取り組み、その財政効果を数値にまとめ公表します。



平成25年度「市政に関するアンケート」調査結果

市政に関するアンケート調査は、市民の皆さんが市政や生活環境についてどのように考え、何を望んでいるかを把握し、今後のまちづくりの参考にさせていただくことを目的として実施しています。調査に当たりましては、多くの皆さんにご回答いただきありがとうございます。

主な結果は以下のとおりです。

●佐野市の住みやすさについて

●佐野市が快適で済みやすい地域であると思いますか？

そう思う＝35.5%、どちらかといえばそう思う＝48.8%、どちらかといえばそう思わない＝7.6%、そう思わない＝5.8%、わからない＝1.9%、無回答＝0.4%

●これからも佐野市に住み続けたいと思いますか？

これからも住み続けたい＝58.0%、どちらかといえば住み続けたい＝24.6%、どちらともいえない＝13.3%、どちらかといえば住みたくない＝3.0%、住みたくない＝0.7%、無回答＝0.5%

・住み続けたい主な理由はなんですか？（上位5項目）

①自然環境に恵まれているから、②買い物が便利だから、③道路・交通機関が整備されているから、④仕事をするうえで便利だから、⑤生活環境基盤の整備が充実しているから

・住み続けたくない主な理由はなんですか？（上位5項目）

①買い物に不便だから、②道路事情や交通の便が悪いから、③消防・防災・防犯対策に不安を感じるから、④保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから、⑤仕事をするうえで不便だから

●市政全般について

●今後のまちづくりに特に重要と思われる事項について（上位5項目）

①高齢者対策・介護サービスの充実、②住みやすい環境(生活道路・公園・街並みなど)の整備、③医療機会・救急医療体制の充実、④幹線道路や公共交通の整備・まちなかの活性化、⑤計画的な土地利用の推進

●合併前(9年前)と比べ、特に良くなったと感じる事項について（上位5項目）

①観光PRなど誘客活動の推進、②幹線道路や公共交通の整備・まちなかの活性化、③住みやすい環境(生活道路・公園・街並みなど)の整備、④観光資源の開発と整備・観光客受け入れ態勢の整備、⑤ごみの減量化や資源の有効活用

●合併前(9年前)と比べ、特に悪くなったと感じる事項について（上位5項目）

①幹線道路や公共交通の整備・まちなかの活性化、②情報化の推進・窓口サービスの充実、③効率的で健全な行財政運営の推進、④農林業の振興、⑤医療機会・救急医療体制の充実

調査方法と項目

▶対象＝満20歳以上の男女2,000人 ▶調査方法＝郵送

▶調査期間＝平成25年12月24日(火)～平成26年1月24日(金)

▶回収率＝841人(42.1%)

▶調査項目＝「佐野市の住みやすさ」「市政全般」「各施策に関すること」(計62問)

▶その他＝回答比率(%)は少数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。このため、設問によっては、回答の数値合計が100%にならない場合があります。また複数回答においては100%を超える場合があります

※調査結果の詳細、いただいたご意見は市ホームページに掲載しています

トップページ右上の「ご意見・お問合せ」から「その他の広聴事業」の欄に掲載しています

■問合せ＝政策調整課 ☎(20)3037

